

水から出た魚たちのくらし ～ムツゴロウとトビハゼ～



写真：石松教授

8/22(土)

13:30～15:00

講師 いしまつ あつし
石松 惇さん

長崎大学 名誉教授

講演概要

トビハゼとムツゴロウは、れっきとした魚類ですが、エラのほかに皮膚や口の中を使って水中だけでなく、
空気中でも呼吸ができます。干潮時には干潟上で様々な活動を行うことができます。その一つが求愛行動
ですが、卵は干潟に掘った巣穴の中に産みつけます。しかし、巣穴を満たしている水はほとんど酸素を含ん
でいません。それでも卵が発育する秘密を解き明かすために佐賀の干潟に10年通い、その謎を解き明か
すことができました。

講師プロフィール

すいせいどうぶつ これまで動物(主に水生動物)の生理生態を研究してきました。特に水中から陸上への脊椎動物の進化に興味
せいいり があり、そんな私にとってトビハゼやムツゴロウは恰好の研究材料です。有明海の干潟では彼らの生態を研究すると
けつえきじゅんかん 同時に、呼吸や血液循環の生理についても調べてきました。また、ベトナム、マレーシア、オーストラリアなどでも熱帯
せいたい のトビハゼやムツゴロウの仲間の研究を現地の人たちと行ってきました。
ねったい



問合せ先・申し込み
東よか干潟ビジターセンター ひがさす
〒840-2222 佐賀市東与賀町中 2757 番地 4
電話：0952-37-0515
FAX：0952-37-0548
mail：higasasu@city.saga.lg.jp



▲ひがさすHP



▲インスタグラム